書籍仕入れご担当者 様【ジャンル／社会・歴史・現代史・仕事】

平素より、ご高配を賜り深く御礼申し上げます。
新刊の『集団就職』を４月下旬に発売致します。
ぜひ、関連コーナーにてご展開いただきますようご案内申し上げます。

FAX: 092-726-9886

集団就職

《高度経済成長を支えた金の卵たち》

大牟田市提供

澤宮 優 ◉著

定価 2000円+税【4月下旬刊】 46判・264頁
ISBN 978-4-86329-151-5 C0036

〈集団就職〉は、戦後日本の全国的な現象だった。
彼ら彼女たちの存在がなければ、戦後復興はなかった――

昭和 30 年前後から昭和 50 年代前半にかけて、〈集団就職〉という社会現象が存在した。中学卒の少年少女たちがまさに出征兵士のごとく、東北から関東方面へ、九州・四国・沖縄から京阪神・中京方面へ、企業側の求人に応じて就職していった。彼ら彼女らの存在がなければ戦後復興も経済成長もなかった。
本書では、〈集団就職〉の実態を、主に西日本域出身者たちへの聞き書きにより明らかにし、現代史の中で正当に評価しようと試みた。さらに、働くことの本質を集団就職体験者たちの言葉から問い直した力作。

〈著者の横顔〉◉澤宮 優（さわみや・ゆう）
1964（昭和39）年、熊本県生まれ。ノンフィクション作家。青山学院大学史学科卒、早稲田大学日本文学専修卒。『巨人軍最強の捕手』（晶文社）で第14回ミズノスポーツライター賞優秀賞を受賞。昭和の庶民史をテーマに幅広く執筆。主な著作に『昭和の仕事』（弦書房）、『「考古学エレジー」の唄が聞こえる《発掘にかけた青春哀歌》』（東海教育研究所）など。

・目次から・

序　章　見送る人たち
出征兵士を見送る思いだった
第１章　京・阪神で働く
仕送りすることだけを考えていた
第２章　中京で働く
強盗に初任給を奪われる／手に職を持った誇り
第３章　関東で働く
境遇は選べないが生き方を変えることはできる
第４章　僕らは南の島からやって来た
沖縄から来て働くということ
第５章　年季奉公
働く者に貧乏なし
第６章　隔週定時制高校
大きな財産として自分を支えている
第７章　いま、働くことの意味を問う
彼らの果たした役割
［付］集団就職をめぐる年表

【FAX: 092-726-9886】

地方小出版流通センター 取扱品

書店・帖合

ご担当者様　様

冊	集団就職《高度経済成長を支えた金の卵たち》 澤宮 優 著	定価 2000円+税 ISBN978-4-86329-151-5
冊	昭和の仕事 澤宮 優 著	定価 1900円+税 ISBN 978-4-86329-041-9
冊	昭和の貌（かお）《あの頃》を撮る 麦島 勝／前山光則 著	定価 2200円+税 ISBN 978-4-86329-093-8
ご注文日 [／]	弦書房 —Genshobo—	〒810−0041 福岡市中央区大名2−2−43 ELK大名ビル301 TEL:092−726−9885 FAX:092−726−9886 URL http://genshobo.com/ e-mail books@genshobo.com